

2002年 白石市民春まつり

五月晴れの五月三日、恒例の「白石市民春まつり」が行われました。
 神明社の御輿渡御を先頭に、各自治会など二十団体から約千四百人が参加した大パレードをはじめ、エキパルロードに關所を設け、時代村を再現した「白石城下商いまつり」、「人間ばん馬大会」や「米俵相撲大会」など多彩な催しが繰り広げられ、約三万三千人の見物客でにぎわいました。
 また、白石市消防団階子乗り隊の皆さんによる「はしご乗り」が、八十年前の古写真と同じ場所再現披露され、まつりに華を添えました。



■人間ばん馬大会(駅前広場)

▲乗ってる私も大変です！5人で力を合わせ、ゴールをめざしました。

1,400人の大パレード!

神明社御輿渡御を先頭に、稚児行列、太鼓山車行列、子供みこし、大人みこし、甲冑行列、階子乗り隊の順で市内を練り歩きました。



■甲冑行列

▲ホラ貝を鳴らして威風堂々！甲冑工房「片倉塾」の皆さん

▼小学生の部でも、重さは40キロ！力自慢が勢ぞろいしました。



■米俵相撲大会(中町商店街)



■大人みこし

▲建設職組合の皆さんによる恒例のもちまきが行われ、まつりは最高潮に。



■子供みこし

▲西益岡祭典実行委員会の皆さんによる「南中ソーラン」
 ※「南中ソーラン」は北海道の稚内南中学校(南中)で誕生した有名なソーラン節の踊りです。



■白石城下商いまつり

商店街に關所を設け、時代村を再現!



■神明社御輿渡御



■稚児行列

▲昭和34・35年女子会の皆さんが担ぎ手になりました。



■太鼓山車行列

▲各地区の趣向を凝らした行列が続きました。(田町自治会の皆さん)



▲うす化粧でちょっとおすまし

80年前を再現! 「はしご乗り」



▲大正11年撮影の古写真(延命寺蔵)



▲この日行われた「はしご乗り」

「大正十一年四月(今から八十年前)刈田郡連合消防演習の際に撮影」と記されている古写真と全く同じ場所、白石市消防団階子乗り隊の皆さんによる「はしご乗り」が披露され、当時のにぎわいが再現されました。
 観客の服装や町並みは、すっかり変わりましたが、壽丸屋敷の屋根瓦のみ、当時のおもかげを今に残しています。

この日、白石城本丸では、勇壮な火縄銃の実演が行われました。実演を行ったのは、片倉家鉄砲鍛冶を先祖に持つ岡良一さんをはじめとする市民有志でつくる「宮城県古式鉄砲研究会」の皆さんです。
 実演では、礼砲を皮切りに、「ズドン」という迫力満点の銃声が鳴り響き、勇猛を天下に知られた「片倉鉄砲隊」をしのばせていました。



「片倉鉄砲隊」火縄銃演武



▲楽しさいっぱいぞくぞく
 ■フリーマーケット